

らくらくスマートフォン

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

はじめに

「F-52B」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

「かんたん操作ガイド」(冊子)

本端末の代表的な機能の操作方法を説明した取扱説明書です。説明に沿って操作することで、F-52Bの基本的な機能が使えるようになります。

「らくらくスマートフォンを お使いになる前に」(冊子)

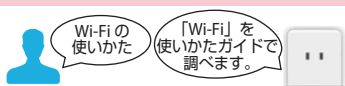
本端末をご利用いただく際の大切なお知らせをまとめています。nanoUIMカード、microSDカードの取り付け方や充電のしかたなどはこの冊子をご覧ください。

「使いかたガイド」(本端末に搭載)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。

【ご利用方法】

ホーム画面で「使いかたガイド」▶検索方法を選択
※初めてご利用になる場合は、画面の案内に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。
※「my daiz」から「使いかたガイド」を呼び出すこともできます。



「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。ドコモのホームページでダウンロードできます。

本書の見かた

- 本書においては、「F-52B」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、アップデートを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- お客様のご契約内容により、ドコモへのお問い合わせ先が異なります。お問い合わせ先について詳しくは、本書巻末をご覧ください。
- 本書は端末の色が「ピンク」、配色テーマの設定が「ピンク」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。また、ホーム画面はお客様の契約状態によって異なります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作を表しています。
- 操作の説明では、ボタンを押す動作をイラスト(→p.20)で表現している箇所があります。
- 本書では、代表的な操作の方法を説明しています。また、操作手順の一部を簡略化して表記しています。

1 ホーム画面で[メール/SMS]

ホーム画面でをプレスします。

2 [受信履歴]▶[受信した人]/[送信した人]

をプレスします。

目的に沿って「受信した人」または「送信した人」と表示されているところをプレスします。

履歴の一覧が表示されます。

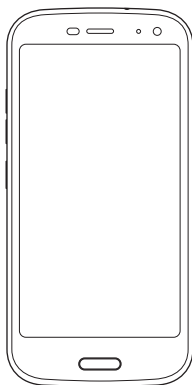
- [受信履歴を削除する] / [送信履歴を削除する] をプレスすると、履歴をすべて削除できます。
- 履歴を選択すると、メールの作成、電話帳に登録、履歴の削除の操作ができます。

操作の結果と補足的な説明をしています。

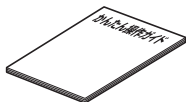
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

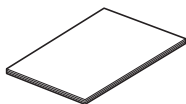
■ F-52B本体



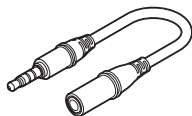
■ かんたん操作ガイド



■ らくらくスマートフォンをお使いになる前に



■ テレビアンテナケーブル（試供品）



- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目 次

■ 本体付属品	1
■ 本端末のご利用について	4
■ おすすめ機能	5
■ 安全上のご注意（必ずお守りください）	5
■ 取り扱い上のご注意	11
■ 防水／防塵、耐衝撃性能	15

ご使用前の準備 20

各部の名称と機能	20
nanoUIM カード	21
microSD カード	22
充電	23
電源を入れる／切る	25
初期設定	26
はじめに設定	26
本端末で利用する暗証番号	26
らくらくホンセンター	27
使いかたガイド	28
どこでもヘルプ	28

基本操作 29

基本操作	29
文字入力	31
お知らせランプの見かた	36
ホーム画面	37
画面表示／アイコン	38
緊急時ブザー	40
マナーモード	41
ライト	42
アプリについて	42

電話／電話帳 46

電話をかける	46
電話を受ける	47
通話中の操作	48
通話履歴	49
伝言メモ	49
通話メモ	50
ワンタッチダイヤル	51
電話の設定	51
電話帳	53
自分の電話番号	54

メール／インターネット 55

メール	55
SMS	60
+メッセージ	62
Gmail	65

緊急速報「エリアメール」	65
インターネット	66
らくらくコミュニティ	69

データ通信 70

Bluetooth® 通信	70
NFC 通信	71
外部機器接続	71

アプリ 73

d メニュー	73
d マーケット	73
Play ストア	73
d ポイント	74
マイマガジン	74
my daiz（マイデイズ）	75
おサイフケータイ	76
テレビ	78
カメラ・ビデオ	81
アルバム	88
地図／GPS 機能	89
メモ	90
スケジュール	91
目覚まし	92
お知らせタイマー	92
電卓	92
検索	93
ドコモデータコピー	93
かんたんお引越し	94
安心データ保存	95
健康測定・歩数計	96
脳の健康ケア	97

本体設定 98

設定メニュー	98
自分の電話番号	99
簡単モード切替	99
画面・ランプの設定	100
音・振動・タッチの設定	102
通信の設定	104
プライバシー	108
セキュリティの設定	108
ドコモのサービス／クラウド	111
エコモードの設定	112
音声読み上げの設定	112
カメラキー長押しの設定	114
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	115
Google	115
アプリケーションの削除	115

アカウント 115
緊急時ブザー 116
保存領域 117
自分から設定 117
バックアップ・リセット 118
日付と時刻 118
印刷 119
診断データ送信 119
端末情報 119
高度な設定 120

海外利用 122

国際ローミング（WORLD WING）の概要 122
海外で利用可能なサービス 122
海外でご利用になる前に 122
滞在先で電話をかける／受ける 124
国際ローミングの設定 125
帰国後の確認 125

付録 126

トラブルシューティング（FAQ） 126
ソフトウェアアップデート 130
保証とアフターサービス 131
主な仕様 133
携帯電話機の比吸収率（SAR） 134
Specific Absorption Rate(SAR) Information
of Mobile Phones 134
輸出管理規制 138
知的財産権 138

索引 140

索引 140

本端末のご利用について

- ・本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- ・本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご利用になれない場合があります。なお、電波が強くて電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- ・本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- ・お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管していただくようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- ・本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- ・microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- ・紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→ p.108
- ・万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- ・Googleが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- ・利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- ・本端末では、あらかじめインストールされているアプリのほか、Playストアやdメニューの「My docomo（お客様サポート）」でダウンロードできるアプリをご利用になれます。
- ・アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ・ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- ・ディスプレイの明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変わる場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- ・市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

■スマホかんたんホーム

通常のスマートフォンに近い操作ができるホーム画面です。スマートフォンの操作に慣れてきた方におすすめです。→p.38

■らくらくフリック入力

軽く指で触れたまま離す（フリック）と、文字が入力できる方式です。テンキーキーボードで使用できます。→p.32

■カメラキー長押しの設定

トップ画面とホーム画面で  ボタンを長押しすることで、さまざまなアプリを簡単に起動することができます。→p.114

■健康測定・歩数計

歩数・歩速、心拍数、血圧、睡眠時間、心の健康度などのデータを元に、健康管理をサポートします。→p.96

■花ノート

カメラで撮影した花の名前を判別したり、花の写真を整理したりできるアプリです。→p.86

■迷惑電話対策機能

電話帳未登録の番号から電話がかかってきたとき、発信者側にけん制メッセージを自動で伝えるなど迷惑電話対策を行う機能です。→p.50

■らくらく迷惑メール判定

ドコモメールやSMSの受信時に迷惑メールと思われる内容である場合に注意喚起を行う機能です。→p.56

機能の詳細については、FCNTの製品情報ページ (<https://www.fmworld.net/product/phone/f-52b/>) をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）」を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）」を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

◆本端末、アダプタ、nanoUIMカード、テレビアンテナケーブル（試供品）の取り扱い（共通）

⚠危険



高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→p.15「防水／防塵、耐衝撃性能」



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→p.15「防水／防塵、耐衝撃性能」



本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意くださいたい例

- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- ・電車やバスなどの座席シートに挟み込む



本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



本端末のリアカバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→p.15「防水／防塵、耐衝撃性能」



充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→p.15「防水／防塵、耐衝撃性能」



オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→p.15「防水／防塵、耐衝撃性能」



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。トレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったたりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆本端末の取り扱い

⚠危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



フラッシュ／ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



自動車などの運転者に向けてフラッシュ／ライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



本端末内のnanoUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、nanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



ブザーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。
難聴など耳への障害の原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については以下をご参照ください。→p.10「材質一覧」



指示

本端末の受話口、スピーカー部に磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

◆アダプタの取り扱い

⚠警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするとき、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～

240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

◆ nanoUIMカードの取り扱い

⚠️ 注意



nanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

⚠️ 警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆ 材質一覧

■ F-52B 本体

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		ADC12アルミ＋強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	フロントケース	PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアカバー	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ホームボタン	センサー部	PC樹脂／透明UV
	ベゼル部	アルミ／アルマイト処理
受話口		ナイロンメッシュ／なし
外側カメラパネル		PMMA・PC複合材／ハードコート
フラッシュ／ライトパネル		PC樹脂／なし
カメラボタン		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
電源ボタン、音量ボタン		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
USB Type-C接続端子		PA樹脂／なし
スロットキャップ	本体	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	パッキン部	シリコンゴム／なし
	ツメ部、屈曲部	ポリエステル系エラストマー樹脂／なし
microSDカードスロット（金属部）		ステンレス鋼／なし
nanoUIMカードトレイ		POM樹脂／なし
ステレオイヤホン端子		PA樹脂／なし

■ テレビアンテナケーブル（試供品）

使用箇所		材質／表面処理
コード部		エラストマー／なし
イヤホン端子	成形部	熱可塑性エラストマー、PP／なし
	ジャックリング	黄銅／ニッケル下地、金メッキ
本体側プラグ	端子	黄銅／ニッケル下地、金メッキ
	絶縁体	POM／なし
	成型部	熱可塑性エラストマー、PP／なし

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- F-52Bは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
 - アダプタ、nanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合は、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」（→p.131）をご確認ください。
- お手入れは乾いた柔らかな布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
 - 端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけません場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
 - 指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。

◆ 本端末についてのお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
風呂場でのご使用については、「F-52Bが有する防水性能でできること」（→p.15）をご参照ください。
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様で自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
 - 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。
 - 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
 - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
- キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
- 近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
→p.20「各部の名称と機能」
- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
- 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(→p.131)をご確認ください。
- 充電は、適正な周囲温度(10℃～35℃)の場所で行ってください。
- 低温では満充電にならない場合がありますが、異常ではありません。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
- フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
- 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管
なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度(10℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
- 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
- 故障の原因となります。

◆nanoUIMカードについてのお願い

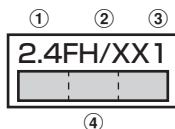
- nanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
- IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様ご自身で、nanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
- 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。
- nanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 故障の原因となります。
- nanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
- 故障の原因となります。
- nanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けけないでください。
- 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
- ③ 1：想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

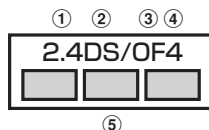
● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

5.2/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。

本端末が日本で使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5180～5240MHz（36、38、40、42、44、46、48ch）
- 5.3GHz帯：5260～5320MHz（52、54、56、58、60、62、64ch）
- 5.6GHz帯：5500～5720MHz（100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140、144ch）

◆FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [認証]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

Display Regulatory labels information about the terminal according to the following.

From the Home screen, Settings > [その他 other] > [About phone] > [認証 Regulatory labels]

防水／防塵、耐衝撃性能

F-52Bは、スロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※4 米国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.6-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

落下	高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験
耐衝撃	40Gの衝撃を6方向から3回与える試験
防水（浸漬）	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
防塵（6時間風速有り）	連続6時間（粉塵10±7g/m ³ 、風速8.9m/s）の粉塵試験
防塵（脆弱面90分）	脆弱面に最小で90分間砂を当てる試験
塩水耐久	連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験
防湿	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験
耐日射（連続）	連続24時間（合計1,120W/m ² ）の日射試験
耐日射（湿度変化）	温度差（+49度差）を与えると同時に、すべての湿度レベルで対日射を繰り返す試験（24時間サイクルで3回）
耐振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験
防水（風雨）	30分間にわたる18m/sの降雨試験
雨滴	1mの高さから15分間雨滴を落とす試験
熱衝撃	-21～50℃の急激な温度変化において、連続3時間の温度耐久試験
高温動作（60℃固定）	動作環境：60℃の高温試験
高温動作（32～49℃変化）	温度32～49℃までの変化を3サイクル実施する高温試験

高温保管（70℃固定）	保管環境：70℃の高温試験
高温保管（30～60℃変化）	温度30～60℃まで変化させる高温試験
低温動作（-20℃固定）	動作環境：-20℃の低温試験
低温保管（-30℃固定）	保管環境：-30℃の低温試験
低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
氷結（-10℃結露）	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作確認（凍結融解）
氷結（-10℃氷結）	-10℃の冷却水で、6mm厚の氷が張るまで氷結させる試験

米国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の23項目、落下、耐衝撃、防水（浸漬）、防塵（6時間風速有り）、防塵（脆弱面90分）、塩水耐久、防湿、耐日射（連続）、耐日射（湿度変化）、耐振動、防水（風雨）、雨滴、熱衝撃、高温動作（60℃固定）、高温動作（32～49℃変化）、高温保管（70℃固定）、高温保管（30～60℃変化）、低温動作（-20℃固定）、低温保管（-30℃固定）、低圧動作、低圧保管、氷結（-10℃結露）、氷結（-10℃氷結）に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

※F-52Bが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やテレビ（ワンセグ）視聴ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、スロットキャップの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗いをすることができます。
 - スロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（→p.15）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、指定（→p.16）以外の石鹸などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（→p.19）で水抜きしてください。

- 本端末は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使って洗うことができます（FCNT株式会社試験方法による）。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 洗いかたについては「洗いかたについて」（→ p.17）をご参照ください。

※ 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープあるいは液体タイプの食器用洗剤で洗えることを保証するものではありません。

- 本端末についた泡は、やや弱めの水流（6L/分以下、常温の水道水）で、しっかりすすいでください。洗った後は乾いた清潔な布で水抜きしてください。

- 本端末を洗う際はスロットキャップを確実に取り付けてください。

- 風呂場で使用できます。

- 風呂場でご使用後は、所定の方法（→p.19）で水抜きしてください。
- 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→p.19）で水抜きしてください。

- 温泉や指定（→p.16）以外の石鹸、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。

- 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%以下でご使用ください（ただし、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります）。なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。

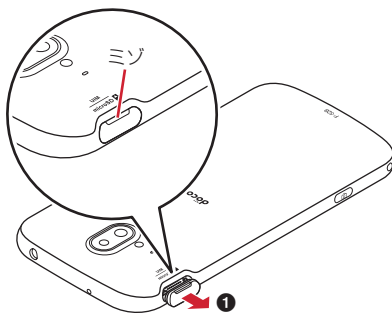
- 寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むと、急激な温度変化でディスプレイやケース表面に結露が発生する場合があります。結露によりディスプレイが見にくくなったり、プレス操作がしにくくなったりした場合は、本端末が常温になるまでお待ちください。

- 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

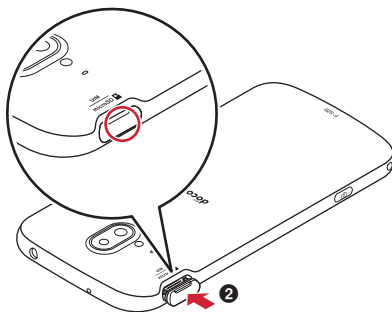
◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- nanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時には、本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップを矢印①の方向に開けます。



- 使用後はスロットキャップを矢印②の方向に差し込み、○部分をしっかり押します。本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。



- スロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、サブマイク、スロットキャップ、通気孔などを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて端末をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



指定以外の
石鹸／入浴剤をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- オプション品は防水／防塵性能を有していません。本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタを接続している状態では、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→p.15）以上の強い水流を直接当てないでください。F-52BはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、サブマイクに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- USB Type-C接続端子に水滴を残さないでください。

- 本端末を洗うときは、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 業務用・無添加・アルカリ性の泡ハンドソープあるいは業務用・無添加・アルカリ性の食器用洗剤は使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。
- 指定（→p.16）以外の石鹸、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔剤、メイク落とし、歯磨き粉などで洗わないでください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
- 洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。
- スロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- スロットキャップのゴムバックキが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆洗いかたについて

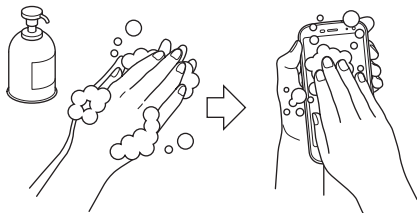
本端末を洗う場合には注意事項をご確認の上、次の手順で行ってください。

- 市販のアクセサリ商品（端末カバー、ケース、ストラップなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 食器用洗剤を使用する場合は、各製品の使用上の注意をよくお読みの上、使用量の目安を守って洗ってください。
- 本端末に、食器用洗剤の原液を直接つけないでください。原液がついた場合はすぐに水で洗い流してください。

- 本端末を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本体に傷がつくおそれがあります。
- 本端末を洗う際は、電源を切ってから行ってください。
- スロットキャップはしっかりと閉じてください。

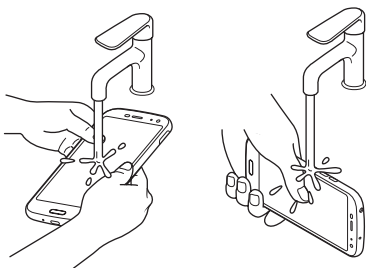
① 手に泡ハンドソープまたは食器用洗剤をとり、泡立ててください。本端末を手のひらに乗せ、前面と背面を泡でこするように洗ってください。

- スロットキャップが開かないように押さえたまま洗ってください。



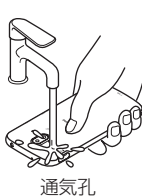
② 前面、背面、各ボタンなど、本端末についた泡が完全になくなるまですすいでください。

- やや弱めの水流（6L／分以下、常温の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗ってください。
- スロットキャップの開閉はしないでください。
- スロットキャップに直接水をかけないでください。

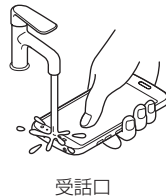


③ 指紋センサー、サブマイク、受話口、ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、USB Type-C接続端子、ストラップホール、スピーカー、通気孔をすすいでください。

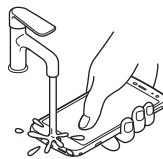
- サブマイク、受話口、送話口／マイク、スピーカー、通気孔に泡ハンドソープや食器用洗剤の成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下するおそれがあります。また、USB Type-C接続端子は充電不良など故障の原因となります。しっかり洗い流してください。



通気孔



受話口



ホームボタン



ステレオイヤホン端子
サブマイク



送話口／マイク
スピーカー
USB Type-C接続端子
ストラップホール

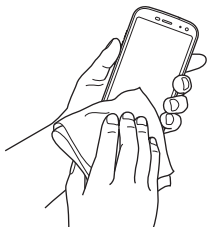
④ 水抜きをしてください。→p.19

- 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- ① 本端末をしっかりと持ち、前面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

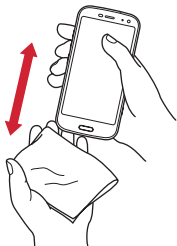


- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口と外側カメラの位置を入れ替えて同じように振ってください。

- 本端末を振り落とさないように、しっかり握ってください。



- ③ ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、サブマイク、通気孔、各ボタンなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

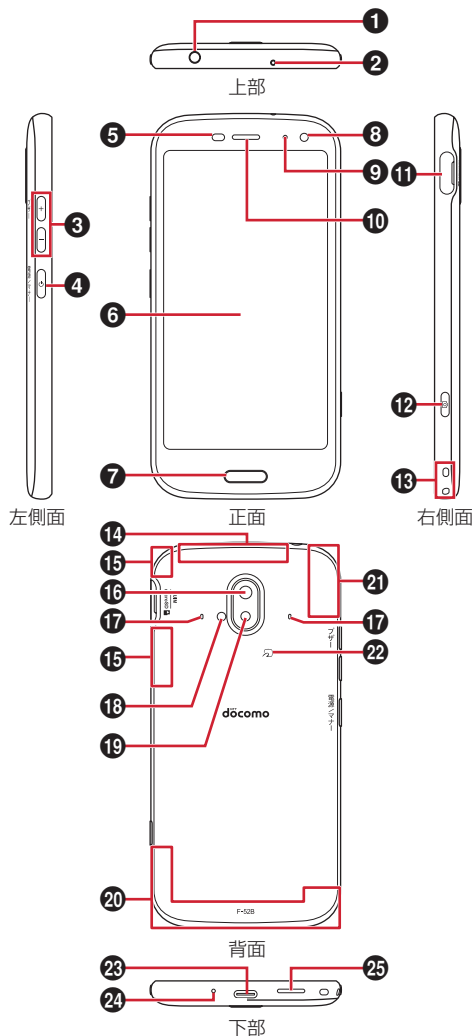
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、充電してください。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



① ステレオイヤホン端子 (防水)

② サブマイク

通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがらないようご注意ください。

③ 音量ボタン (🔊 ボタン)

各種音量の調節に使用します。[緊急時ブザー]を「オン」にしている場合は、🔊 ボタンを緊急時ブザーとしても使用します。→p.40、p.116

④ 電源ボタン (🔘 ボタン) →p.25

画面を消灯／点灯します (スリープモードの切り替え)。2秒以上押し続けると電源が入ります。電源が入っている状態で、携帯電話オプションメニューが表示されるまで押し続けると、電源を切る、再起動の操作や、通常マナー、運転中モード、機内モード、非常用節電モードのオン／オフ、スクリーンショットや緊急通報ができます。

⑤ 近接センサー／照度センサー※1

近接センサーは通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤動作を防ぎます。照度センサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。

⑥ ディスプレイ (タッチパネル)

⑦ ホームボタン (🔘 ボタン) ※2

ホーム画面を表示します。2秒以上押し続けると Google アシスタントを起動できます。指紋センサーとしても使用できます。

⑧ 内側カメラ→p.81

⑨ お知らせランプ→p.36

⑩ 受話口

⑪ スロットキャップ※3

スロットキャップを開けると nanoUIM カードスロットと microSD カードスロットがあります。

⑫ カメラボタン (📷 ボタン) →p.81

ホーム画面で長く押すとカメラが起動します。また、写真／動画の撮影に使用します。

⑬ ストラップホール

⑭ 3G／4G／GPS アンテナ部※4→p.89

⑮ 5G アンテナ部※4

⑯ 外側通常カメラ→p.81

⑰ 通気孔

⑱ フラッシュ／ライト

⑲ 外側マクロカメラ

⑳ 5G／LTE／FOMA／2G アンテナ部※4

㉑ 5G／Wi-Fi／Bluetooth／LTE アンテナ部※4→p.104

㉒ スピーカー

㉓ ㊦マーク→p.76

㊦マークを読み取り機にかざしておサイフケータイとして利用できます。

㉔ USB Type-C 接続端子 (防水)

充電時などに使用します。

㉕ 送話口／マイク※5

※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。

※2 ラジオなどアプリによっては、終了せずに起動した状態 (バックグラウンド動作) のままにすることができません。

※3 水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。

※4 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※5 送話口／マイク部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、正しく音声が入力されない場合があります。

■ご注意

- ・リアカバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- ・本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

nanoUIMカード

nanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

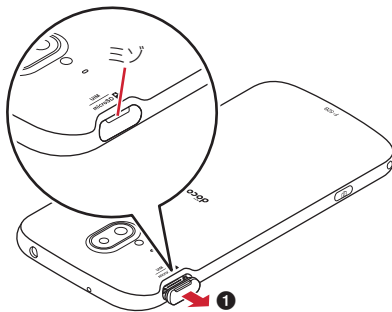
- ・本端末では、nanoUIMカードを使用します。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ・nanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ・nanoUIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

◆nanoUIMカードの取り付け／取り外し

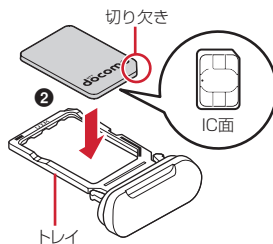
- ・取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ・取り付けには必ずトレイを使用してください。nanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。
- ・取り付け／取り外しの際には、他のボタン等を押してしまわないように ご注意ください。
- ・ディスプレイ面を下側に向け、柔らかい布の上に置くなど、安定した状態で行ってください。

■取り付けかた

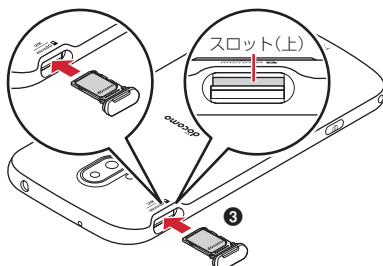
- ① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップをまっすぐ水平に引き出す (①)



- ・トレイはnanoUIMカードスロットから外れる構造になっています。
- ② nanoUIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる (②)
 - ・切り欠きの方向にご注意ください。



- ③ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、トレイをnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む (③)



- ④ 本端末のスロットキャップをしっかりと押して閉じる→p.16

■取り外しかた

- ① 本端末のディスプレイ側を下に向け、ミゾに指先をかけてスロットキャップをまっすぐ水平に引き出す

- ② nanoUIMカードを取り外す
- ③ 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、トレイをnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む
- ④ 本端末のスロットキャップをしっかりと押して閉じる→p.16

✓お知らせ

- nanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、nanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、nanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイをnanoUIMカードスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損するおそれがあります。

◆ nanoUIMカードの暗証番号

nanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。→p.27

microSDカード

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、1TBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています(2022年1月現在)。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化(データはすべて削除されます)する必要があります。

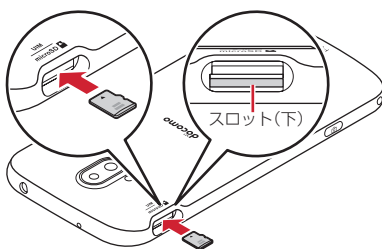
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先(元)機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカード(クラス10以上を推奨)をご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り外しは、電源を切るか、ホーム画面で[本体設定] ▶ [その他] ▶ [保存領域] ▶ [microSDカードのマウント解除] をプレスしてマウントを解除(認識を解除)してから行ってください。

■ 取り付けかた

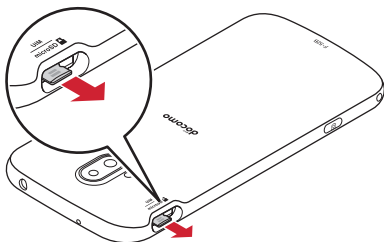
- ① ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→p.21
- ② 本端末のディスプレイ側を下に向けているときにmicroSDカードの金属端子面が下を向くようにmicroSDカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまでまっすぐ水平に押し込む



- ③ 本端末のスロットキャップをしっかりと押して閉じる→p.16

■取り外しかた

- ① ミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける→p.21
- ② microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ水平に引き出す



- ③ 本端末のスロットキャップをしっかりと押しつけて閉じる→p.16

✓お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

充電

◆充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせランプが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせランプが消灯します。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせランプが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態での充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>
- 連続待受時間、連続通話時間、充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→p.133

❖内蔵電池の寿命について

- ・内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら、通話などを長時間行うと内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
 - ・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
 - ・このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。
- 製造元FCNT株式会社



Li-ion 00

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタ、DCアダプタ、USBケーブルの取扱説明書をご覧ください。

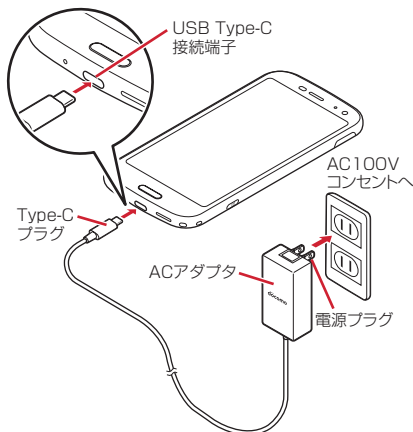
ACアダプタ 08（別売）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

DCアダプタ 05（別売）：自動車の中で充電する場合に使用します。ご利用には、別途USBケーブル A to C 02（別売）が必要となります。

◆ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 08（別売）を使用した場合の操作を説明します。

- ① ACアダプタのType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- ② ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - ・充電中は本端末のお知らせランプが赤色に点灯します。
 - ・充電が完了すると本端末のお知らせランプが消灯します。
- ③ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ④ 本端末のUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-Cプラグを水平に抜く



◆DCアダプタを使って充電

DCアダプタ 05（別売）は、自動車のアクセサリソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02（別売）が必要です。

取り扱いについて詳しくは、DCアダプタ、USBケーブル A to C 02の取扱説明書をご覧ください。

◆パソコンを使って充電

USBケーブル A to C 02（別売）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- ・パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源を入れる／切る

◆電源を入れる

1 お知らせランプが緑色に点灯するまで ボタンを押し続ける(2秒以上)

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のトップ画面が表示されます。

2 トップ画面で下から上方向にスライド

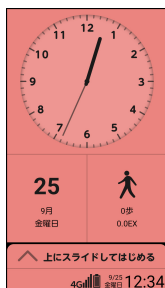
- トップ画面については、「トップ画面」をご覧ください。→p.25

■初めて電源を入れたときは

初期設定（本端末を使う前の準備）を行った後、ドコモサービスの設定を行います。それぞれ画面の案内に従って操作してください。→p.26

※トップ画面

トップ画面は誤操作を防ぐための画面です。



1 トップ画面で下から上方向にスライド ホーム画面が表示されます。

✓お知らせ

- トップ画面は、消灯までの時間の設定（→p.101）に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。スリープモードについては、「ディスプレイの表示が消えたら」をご覧ください。→p.25
- トップ画面の設定については、「トップ画面の設定」をご覧ください。→p.100
- トップ画面の配色設定については、「配色テーマの設定」をご覧ください。→p.101

※ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、消灯までの時間の設定（→p.101）に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、電池の消費を抑えることができます。

1 ボタンを押す

スリープモードが解除され、トップ画面が表示されます。

手動でスリープモードにする： ボタンを押す

✓お知らせ

- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで ボタンを押し続ける

- 携帯電話オプションメニューでは次の項目が表示されます。

電源を切る：本端末の電源を切ります。

再起動：本端末を再起動します。

通常マナー／サイレントマナー：マナーモードをオン／オフにします。→p.41

非常用節電モード：非常用節電モードをオン／オフにします。→p.31

緊急通報：緊急通報をかけます。→p.46

表示画面の保存：本端末に表示されている画面を画像として保存します。→p.30

2 [電源を切る] ▶ [OK]

本端末が振動して電源が切れます。

再起動：[再起動] ▶ [OK]

初期設定

初めて電源を入れたときは、本端末を使う前の準備を行う画面が表示されます。

- Google アカウントの設定や、設定の状況により表示される項目が異なる場合があります。
- 設定は後から変更することもできます。

1 ようこそ画面で[開始]

2 画面の案内に従って各項目を設定

Wi-Fiに接続：Wi-Fiネットワークを設定します。
アプリとデータのコピー：端末のセットアップ方法を選択します。

ログイン：Google アカウントを設定します。

Google サービス：Google サービスについて設定します。

指紋認証：指紋認証について設定します。

画面ロックの設定：セキュリティロックを設定します。

Google アシスタント：Google アシスタントについて設定します。

迷惑電話対策機能：迷惑電話対策機能について設定します。

診断データ送信：診断データの送信を設定します。

3 「ドコモ初期設定」画面で注意事項などを確認して[次へ]

4 画面の案内に従って各項目を設定

dアカウント：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。

あんしん・便利：本端末をあんしん・便利に使うための機能・サービスを一括で設定します。

ドコモクラウド：データをクラウドに保存するかを設定します。

5 その他の設定項目を確認し画面の案内に従って各項目を設定

- 設定しないで続ける場合は、[いいえ] をプレスします。

6 [設定完了]

ホーム画面が表示されます。

- はじめに設定が完了していない旨の確認画面が表示された場合は、[設定する] をプレスして、画面の案内に従って操作してください。後から設定することもできます。→p.26

- 「おすすめ使い方ヒント」画面が表示された場合は[利用する] / [利用しない] をプレスして、画面の案内に従って操作してください。

✓お知らせ

- Play ストアでアプリをダウンロードする場合は、Google アカウントを設定してください。

はじめに設定

はじめに設定を行うと、自分から設定の基本情報と配色テーマを設定することができます。

- 設定は後から変更することもできます。

1 ホーム画面で[はじめに設定] ▶ [次へ]

2 画面の案内に従って各項目を設定

自分から設定：自分から設定の基本設定を設定します。→p.117

配色テーマの設定：トップ画面と標準ホーム画面の配色を設定します。→p.101

本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末のお問い合わせ先までご相談ください。

❖ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に、契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ・ ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖ PINコード

nanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→ p.110

PINコードは、第三者によるnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、nanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- ・ 別の端末で利用していたnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- ・ PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ・ nanoUIMカードがPINロックされた場合は、nanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖ PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- ・ PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、nanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ・ nanoUIMカードがPUKロックされた場合は、nanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖ dアカウント

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケット等のドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。

❖ Google アカウント

Google アカウントとは、Google の各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末に Google アカウントを設定することで、Gmail を利用してEメールを送受信したり、Google Play を利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

らくらくホンセンター

本端末の使いかたがわからないときに、らくらくホンセンターに電話をかけて確認することができます。

らくらくホンセンターとは

各種手続き、お問い合わせなどのご用件をアドバイザーが直接お答えする受付センターです。らくらくホンセンターに電話した際の通話料はかかりません。

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

1 ホーム画面で[らくらくホンセンター]

2 【電話する】

らくらくホンセンターに電話がかかります。

使いかたガイド

本端末の使いかたがわからないときに、使いかたガイドを起動して機能の詳しい説明や操作方法を調べることができます。

- コンテンツアップデートの確認画面が表示された場合は、スライドして内容を確認した後、[実行する] ▶ [OK] をプレスしてください。

1 ホーム画面で[使いかたガイド]

2 目的の操作を行う

診断サポートを使う：お困りの症状を診断し、解決方法をお知らせします。

使いこなしQRコードリーダーを使う：使いこなしQRコードリーダー for らくらくスマートフォンを使って、使いこなしガイドなどに掲載されているQRコードを読み取り操作画面を表示します。

目次から検索する：機能別に分けられた目次から検索します。

索引から検索する：50音順の機能名から検索します。

キーワードから検索する：調べたい用語などを入力して検索します。

基本の使いかたを見る：動画で基本の使いかたを説明します。

動画で使いかたを学ぶ：動画で便利な使いかたを説明します。

どこでもヘルプ

アプリの利用中に機能の説明（ガイド）などを確認できます。

1 アプリ利用中に画面右上の[?]をプレス

- [?]は画面によって色が異なる場合があります。

基本操作

基本操作

◆タッチパネルの使いかた

本端末は指で直接タッチパネルに触れて操作します。

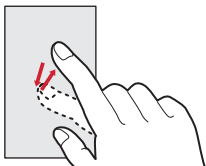
※タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは、指の腹を使って軽い力で操作するように設計されています。強い力で押ししたり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

※プレス

画面に指を軽く触れてからそのまま押し込み、指を離します。押し込んだ時点で操作が有効になります。



- お買い上げ時は、画面に軽く触れるとアイコンやメニューなどの色や枠が変化し、さらにプレスすると振動が指先に伝わる設定になっています。らくらくタッチの設定（→p.103）や、タッチ／プレス時の振動設定（→p.104）で動作を変更することができます。
- 「Google」内のアプリ（→p.42）、Play ストア（→p.73）、Google 検索（→p.93）はらくらくタッチが無効です。
- ダウンロードしたアプリは、お買い上げ時の設定ではらくらくタッチが無効です。らくらくタッチを利用する場合はらくらくタッチの設定の「ダウンロードしたアプリ」を「オン」にしてください。
- 「らくらくタッチ」が「オフ」の場合は、画面に軽く触れてから離します（タッチ）。
- 一部アプリやインターネットサイト閲覧など、画面によってはらくらくタッチの設定に従って動作しない場合があります。

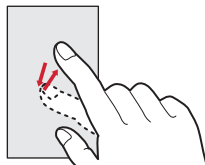
- 「らくらくタッチ」を「オン」に設定していても、プレスの動作にならない
- 「らくらくタッチ」を「オン」に設定していても、プレス時に振動しない
- アイコンやメニューなどに指で軽く触れても、色や枠が変化しない
- アイコンやメニューなどをプレスしたとき、色や枠に変化はないが、振動する
- プレスできないときは、タッチで操作できる場合があります。
- アプリによっては、プレス／タッチのいずれの操作もできないことがあります。その場合は、「らくらくタッチ」を「オフ」にしてください。
- 表示された画面以外の空き領域をプレスすると、キャンセルの動作になる場合があります。

※ロングプレス

画面を長く押し込んでから離します。

※タッチ

画面に指を軽く触れてからすぐに離します。



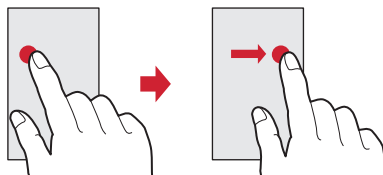
※スライド（スワイプ）／ドラッグ／パン

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。画面をスクロールしたり、音量を調節したりするときなどの操作です。

- 画面によっては同じ場所を0.5秒以上触れ続けると、スライド操作によるスクロール動作が固定されます。画面から指を離すことで、固定を解除することができます。

ドラッグ：画面の項目などに指を触れたまま、目的の位置に動かします。

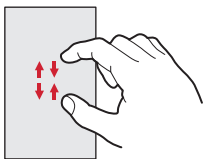
パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

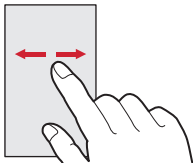
◆ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。画面の表示を拡大したり、縮小したりするときの操作です。



◆フリック

画面に触れた指をすばやく払います。画面内のページや項目を次へ移動する操作です。



◆縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→p.100）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆おまかせズーム

おまかせズームは、タッチした場所を拡大する機能です。小さい文字などが読みやすい大きさに拡大されます。

拡大後もピンチイン／アウトなどの操作ができます。

- あらかじめ「おまかせズーム」を「オン」にする必要があります。→p.101

1 [おまかせズーム] ボタンを押す

画面に緑色の枠が表示され、おまかせズームを使用できる状態になります。

2 拡大したい場所をタッチ

タッチした場所が読みやすい大きさに拡大されます。

✓お知らせ

- おまかせズームで拡大された画面は、次の操作で通常の状態に戻ります。
 - [おまかせズーム] ボタンを押す
 - 画面をタッチ（ボタン操作、リンク操作なども含む）
 - [戻る] ボタンを押す
 - [ホーム] ボタンを押すなどして画面を消灯させる
- 次の場合はおまかせズームが動作しません。
 - トップ画面表示中
 - ホーム画面表示中
 - カメラ起動中
 - [おまかせズーム] ボタンを利用しているアプリを起動しているとき
 - 文字入力中
 - 音声読み上げをオンにしているとき
 - パターン／暗証番号／パスワードの入力画面表示中（ロック画面の解除中）

◆タスク管理

[タスク管理] ボタンを押すなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能では実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりすることができます。

1 [タスク管理] ボタンを2回押す

最近使ったアプリが表示されます。

- サムネイルをプレスするとアプリを表示できます。
- サムネイルを上フリックするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するにはサムネイルを一番左端までフリックして「すべてクリア」をプレスします。
- アプリ表示中に「履歴」をプレスしても実行中のアプリを確認できます。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 [ホーム] ボタンと[タスク管理] ボタンを同時に押す（1秒以上）

◆画像を確認する

1 ホーム画面で「アルバム」

2 「保存した画面」

◆非常用節電モードの設定

災害などの非常時に、画面の明るさを抑えたりして、電池の消費を抑えることができます。

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで $\square$ ボタンを押し続ける

2 [非常用節電モード] ▶ [OK]

本端末が再起動し、非常用節電モードが設定され、ステータスバーに $\square$ (非常用節電モード設定中)が表示されます。

✓お知らせ

- ・非常用節電モードを解除するには、携帯電話オプションメニューが表示されるまで $\square$ ボタンを押し続けて、[非常用節電モード] ▶ [OK] をプレスします。
- ・ホーム画面で [あんしんツール] ▶ [災害用キット] ▶ $\square$ ▶ [OK] をプレスしても、非常用節電モードを設定／解除できます。アプリ起動時に「ご利用にあたって」の画面が表示された場合は、確認して [同意して利用する] をプレスします。
- ・非常用節電モード設定中は、電源をオフにしても設定は解除されません。
- ・非常用節電モード設定中は、エコモードの設定はできません。
- ・非常用節電モード設定中で、画面がスリープモードの場合はアラームは鳴りません。

◆アプリの権限

アプリによっては初めて起動すると、本端末の機能や情報にアクセスする権限を許可するかの確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、該当する機能や情報を利用できるようになります。お買い上げ時にインストールされているアプリは、お客様の不利益になる動作は行いませんので、「許可」を選択してください。

- ・アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認の上、操作してください。

〈例〉「お知らせタイマー」アプリを初めて起動する場合

1 ホーム画面で [便利ツール] ▶ [お知らせタイマー]

確認画面が表示されます。

2 [次へ] ▶ [許可] / [許可しない]

- ・以降は画面の案内に従って操作してください。

✓お知らせ

- ・アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ・権限の設定を変更するには、ホーム画面で [本体設定] ▶ [その他] ▶ [高度な設定] ▶ [アプリケーション情報] ▶ アプリを選択 ▶ [権限] ▶ 変更する機能を選択し権限を設定します。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

◆入力方法

手書き入力、音声入力、テンキーキーボードで文字を入力します。

※入力方法の切り替え

■テンキーキーボードから手書き入力に切り替え

1 テンキーキーボード表示中に [機能] ▶ [手書き入力]

手書き入力画面が表示されます。

■手書き入力からテンキーキーボードに切り替え

1 手書き入力画面表示中に [機能] ▶ [通常入力]

テンキーキーボードが表示されます。

- ・手書き入力画面表示中に [文字] ▶ [あいう] / [アイウ] / [ABC] / [123] のいずれかをプレスしても切り替えられます。

※手書き入力

手書き入力エリアに指で書くことで文字を入力します。複数の文字を重ねて書くこともできます。

1 文字入力画面で [機能] ▶ [手書き入力]



① カーソル

- ・文字を入力する位置を示します。

② 削除 : カーソルの左側の文字を削除

- 戻る : 書き直しをプレスする前の状態に戻る

③ < : カーソルを左に移動

- > : カーソルを右に移動

文字入力後にプレスして次の文字を入力します。

④ 文字 : 文字切替メニューの表示→p.32

- 変換 : 文字の変換

書き直し : 手書き文字の書き直し

- 訂正 : プレスした後に表示されます。

- ⑤ **機能** : 機能メニューの表示→p.33
訂正 : 訂正候補の表示
- ⑥ **↩改行** : 改行
決定 : 文字の確定
- アプリによっては [実行] / [検索] / [送信] / [次へ] が表示されます。
- 閉じる** : **訂正** をプレスする前の画面に戻る

◆音声入力

音声で文字に変換して入力します。

1 文字入力画面で[機能]▶[音声入力]▶送話口／マイクに向かって言葉を発声

- 初回起動時は「アプリケーションプライバシーポリシー」をご確認の上、[同意する] をプレスしてください。



- ☰をプレスすると、音声入力の使いかた、アプリ情報、オープンソースライセンスを確認できます。
- 発声した言葉が正しく認識されなかった場合は、🎤をプレスして再度送話口／マイクに向かって発声します。

2 認識結果を確認▶[決定]

- 発声した言葉が意図した言葉で認識されなかった場合は、認識結果画面で[やり直す]をプレスし、再度送話口／マイクに向かって発声します。

◆テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。お買い上げ時は「ケータイ入力とらくらく2タッチ入力を併用」に設定されていて、入力したい文字が割り当てられているボタンを目的の文字が表示されるまで続けてプレスする「ケータイ入力」と、ボタンをロングプレスして目的の文字をプレスする「らくらく2タッチ入力」ができます。→p.33

また、ボタンをフリックして目的の文字を入力する「らくらくフリック入力」の利用を設定することもできます。→p.33

- [らくらく2タッチ入力] に設定した場合は、ボタンをプレスして目的の文字をプレスする操作になります。
- [らくらくフリック入力] に設定した場合は、ボタンをフリックしての入力以外に、ボタンをプレスして目的の文字をプレスする操作も利用できます。

■画面の見かた



- 文字入力を開始すると、表示が変わるボタンがあります。

- ① カーソル
- 文字を入力する位置を示します。
- ② カーソルを右に移動
- ③ カーソルを左に移動
- ④ **文字** : 文字切替メニューの表示
- 文字切替メニューを表示すると、次の操作ができます。
- | | |
|-----|----------------|
| あいう | ひらがな／漢字入力に切り替え |
| アイウ | カタカナ入力に切り替え |
| ABC | 英字入力に切り替え |
| 123 | 数字入力に切り替え |
| 顔文字 | 顔文字一覧の表示 |
| 記号 | 記号一覧の表示 |
| 絵文字 | 絵文字一覧の表示 |
| 閉じる | 文字切替メニューを閉じる |

- 変換** : 文字の変換
- ⑤ **機能** : 機能メニューの表示→p.33
- 小** : 濁音付きの文字／半濁音付きの文字／拗音／促音に変換
- A/a** : 英字入力時の大文字と小文字の切り替え

- ⑥ カーソルの左側の文字を削除